

病院における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	3階病棟病室に患者さんのバイタル測定のため訪室した際、電気毛布のコードにつまずいて膝をつき、左足を負傷した。	66~299	100
3	10~11	病棟廊下で患者の尿失禁の対応中、オムツを取りに行こうと病室から出た時に、靴の裏に尿がついていたため滑り、中央トイレの前にある黄色の点字ブロックに躓き、とっさに手をつき転んだ。	54~499	300
3	10~11	保育に必要な用品（リボン等）を学外の店舗へ購入に行くため、通勤に使用している自家用車を駐車場に取りに行った際、駐車場の車止めブロックに躓き転び、左膝を強打し、左後十字靭帯断裂を負った。	48~9999	1000
3	21~22	仕事帰り、北駐車場への出入り口として使われている階段を下りる際、3段目を踏み外して手から地面につき、左手首を骨折した。	53~299	100
7	11~12	洗濯物を取りに空のカートを押して職員出入口を出ようと扉をあけた時指が扉の隙間に巻き込まれ、手を引いた時に右指第2指を負傷した。	57	1~9
7	7~8	駐車場にて、イベントのために従業員の車を整理誘導中、車をバックで駐車させる際に、車が止まり、少し調整するためにさらにバックしたところ、自分の後方のスペースがなくなり、誤って後方の深さ1.2m程度の水路に転落し、地面に手をつき左手第4指・第5指の基節骨を骨折した。	34~499	300
7	12~13	厨房で清掃のため布巾を洗いにいく途中、清掃のため排水口の蓋が開いているのに気付かず転落した。	66~999	500

7	16～ 17	外来棟2階Sブロック付近（エスカレーター前）にて、来客を見送るために急いで移動していたとき、廊下で靴が滑り転倒した。	32	1000 ～ 9999
7	17～ 18	当院病室にて、認知症で暴言・暴力的な行動が見られる患者さんの食事介助をしていた際、患者の口にご飯を入れた瞬間、吐き出したため、その勢いで患者の手が顔付近に来た。その際、反射的によけたが勢い余って壁に激突し、背中および腰を強打した。その10分後に痛みが強くなったため病院を受診したところ、腰・背部打撲により、1ヶ月程度の療養が必要と診断された。	46	300 ～ 499
9	11～ 12	調理場で食材を取りに行き、物を持って帰る時に溝が浮いている場所につまずき転んでしまい、右膝骨折したものである。	55	500 ～ 999
12	22～23	病棟の階段で扉を開けようとした際、強い風圧がかかり、扉を支えきれず、右手2・3・4指を挟んで、右中指末節骨を折った。	55	500 ～ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html